

**製品名: AP-2 $\alpha$ / $\beta$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06979**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	49kDa

**抗原情報**

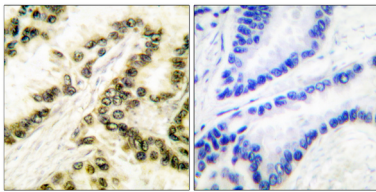
遺伝子名	TFAP2A/TFAP2B
別名	TFAP2A; AP2TF; TFAP2; Transcription factor AP-2-alpha; AP2-alpha; AP-2 transcription factor; Activating enhancer-binding protein 2-alpha; Activator protein 2; AP-2; TFAP2B; Transcription factor AP-2-beta; AP2-beta; Activating enhancer-binding
遺伝子 ID	7020.0
SwissProt ID	P05549/Q92481
免疫原	抗血清はヒト AP-2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 388-437

**背景**

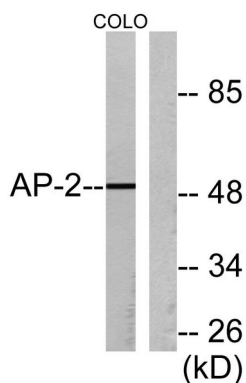
転写因子 AP-2 アルファ (TFAP2A) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、コンセンサス配列 5'-GCCNNNGGC-3'に結合する転写因子です。コードされるタンパク質は、類似のファミリーメンバーとホモ二量体またはヘテロ二量体として機能します。このタンパク質は、いくつかの遺伝子の転写を活性化し、他の遺伝子の転写を阻害します。この遺伝子の欠陥は、鰓眼顔面症候群(BOFS)の原因です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009年12月]、代替製品：一部のアイソフォームでは実験的確認が不足している可能性があります、疾患：TFAP2Aの欠陥は、鰓眼顔面症候群(BOFS)の原因です[MIM: 113620]。特徴的な顔貌、成長遅延、鼻涙管閉鎖不全、早期老化を伴う鰓裂、または口唇偽裂・血管腫性鰓嚢胞症候群としても知られています。BOFSは、様々な表現型を示す稀な常染色体優性口蓋裂頭蓋顔面疾患です。主な特徴には、皮膚異常、眼異常、特徴的な顔貌(耳介奇形、口唇裂)、そしてまれに腎臓および外胚葉(歯および毛髪)の異常が含まれます。ドメイン：WW結合モチーフはWWOXとの相互作用を媒介します。機能：誘導性ウイルスおよび細胞エンハンサーエレメントと相互作用して、特定の遺伝子の転写を制御する配列特異的DNA結合タンパク質。AP-2因子は、コンセンサス配列5'-GCCNNNGGC-3'に結合し、眼、顔、体壁、四肢、神経管の適切な発達を含む、広範囲にわたる重要な生物学的機能に関する遺伝子を活性化します。また、MCAM/MUC18、C/EBP $\alpha$ 、MYCなど、多くの遺伝子の発現を抑制します。AP-2 $\alpha$ は、水晶体小胞の初期形態形成に必要な唯一のAP-2タンパク質です。オンライン情報：アクチバチンタンパク質2のエントリ、PTM：Lys-10がSUMO化されており、転写活性を阻害します。類似性：AP-2ファミリーに属します。サブユニット：二量体としてDNAに結合します。他のAP-2ファミリーメンバーとホモ二量体またはヘテロ二量体を形成できます。WWOXと相互作用します。CITED4と相互作用します。UBE2Iと相互作用します。間期および有糸分裂期には、EPN1およびNUMBを含む複合体を形成し、RALBP1と相互作用します。

## 研究分野

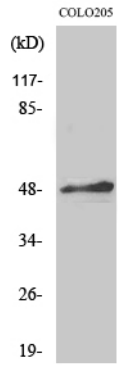
## 画像データ



AP-2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



COLO205細胞ライセートのAP-2抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



AP-2 $\alpha$ / $\beta$  ポリクローナル抗体を用いたさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。